

デザインと環境で世界をリードする

TCW

高橋カーテンウォール工業株式会社

2025年12月期  
決算説明会資料

代表取締役社長：高橋 武治

2026年 2月10日

TCW

---

## 目次

1. 事業内容
2. 2025年12月期 連結決算概要
3. 2025年12月期 説明詳細
4. 各事業の今後
5. 2026年12月期 連結通期予測
6. 当社の資本効率について
7. 配当の基本方針と推移

---

# 1. 事業内容

# 事業内容 基本情報

会社名 高橋カーテンウォール工業株式会社

創業 1951年（昭和26年）

従業員数 186名（男性139名・女性47名）2025年12月現在

経営陣	代表取締役社長執行役員	高橋 武治
	取締役上席常務執行役員	高橋 宗敏
	社外取締役	小出 斉
	常勤監査役	中西 博之
	監査役（社外）	中川 康生
	監査役（社外）	吉見 芳彦

事業内容 プレキャストコンクリートカーテンウォールの設計・製造・施工  
建築用プレキャストコンクリート部材【N認定】の設計・製造・施工  
水施設・水空間・水環境の企画・提案・設計・施工

事業所 本社：東京都中央区日本橋 大阪支店：大阪市北区中之島

## 生産拠点



つくば工場：茨城県結城郡八千代町



下館工場：茨城県筑西市西山田



滋賀工場：滋賀県甲賀市信楽町

# 事業内容 私たちのミッション・ビジョン・バリュー

経営理念

【全従業員の物心両面の幸福を追求し、社会の進歩発展に貢献する】

M

【Mission】

都市を革新する

V

【Vision】

デザインと環境で世界をリードする

V

【Value】

挑戦・一丸・誠実



## 2つの事業セグメント





# PCカーテンウォール



赤坂トラストタワー



DPL青梅



八重洲ダイビル



株式会社ニコン本社/イノベーションセンター



大阪信用金庫新本店

# PCカーテンウォール

個性的なコンクリート製の外壁を提供することによって現場の省力化を助け、  
自在な形状や様々な表情で街を彩り、都市を革新します





# PCカーテンウォール

## アーキテクチュラルコンクリート

自然石の風合いと様々な色味を表現したデザイン性の高いコンクリート

### 表面加工例



研ぎ出し

サンドブラスト

### 研ぎ出し

コンクリート表面を平滑に研磨し、骨材などを露出させる平滑仕上げ

### サンドブラスト

砂を高速度でコンクリート表面に吹付ける粗面仕上げ

### その他のラインナップ



ビシャン風



チェーン引き



エイジング

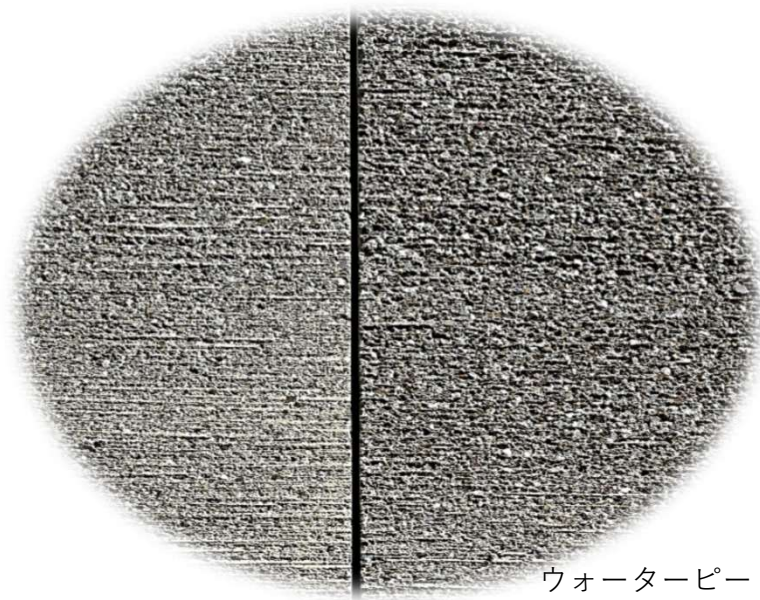


洗い出し

# PCカーテンウォール

同じ骨材を使用しても表面加工で大きく見た目が変わる  
当社Webサイト「Simulator」よりご確認できます

## アーキテクチュラルコンクリートの施工事例



ウォーターピーリング  
By OSHIROX



研ぎ出しソフト



研ぎ出しハード

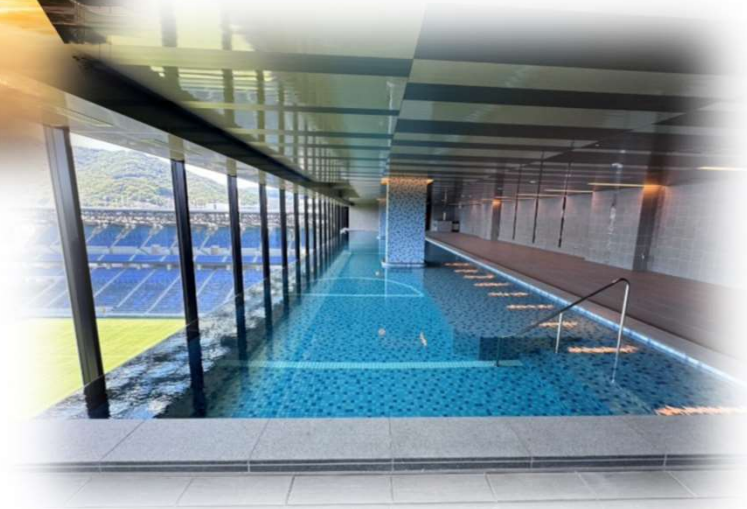


サンドブラストスーパーラフ



# アクア施設

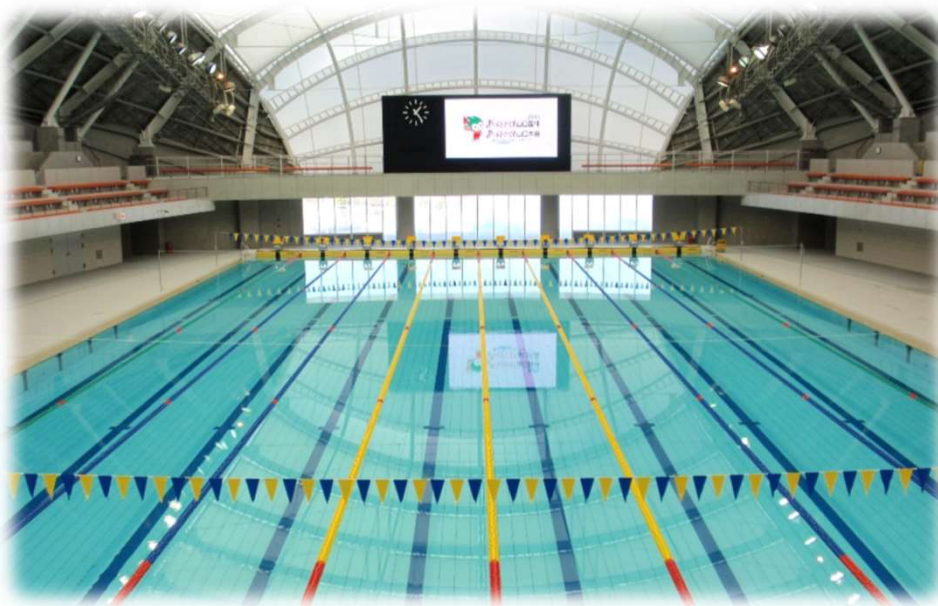
AQUA  
by TCW





プール（競技用・ホテル・学校・訓練用等）や水盤を中心に提案設計から施工・監理を行うとともに、メンテナンスや改修工事を含め水施設をトータルコーディネートします

## 競技用公認プール



## ホテルプール



## 可動床プール

水施設に対するニーズの多様化（夏場はプール使用、その他のシーズンは多目的広場・小学校と中学校・高等学校でのプール共用など）に対し、ボタンひとつでプールの床面を昇降させ利用目的に適した水深に変えることが可能。可動床面を分割したり、水深0mまで上昇させ床面に人工芝を敷くことにより、多目的な陸上スペースとして使用することも可能。





## 水難救助訓練用プール



## 水盤



## メンテナンス





---

## 2. 2025年12月期 連結決算概要

# 2025年12月期の総括

	2024.12 決算	2025.12 決算	通期 増減額	通期 増減率
売上高	9,383	7,338	- 2,045	- 21.8%
営業利益	593	112	- 481	- 81.0%
営業利益率	6.3%	1.5%	- 4.8%	
経常利益	671	186	- 485	- 72.2%
経常利益率	7.2%	2.5%	- 4.6%	
当期純利益	372	190	- 182	- 48.9%
当期純利益率	4.0%	2.6%	- 1.4%	

単位：百万円

# 2025年12月期の売上・営業利益 概況

## 【売上高】

7,338百万円

前期比較

-21.8% (-2,045百万円)

## 【営業利益】

112百万円

前期比較

-81.0% (-481百万円)

## 【売上高】

- ・ PCカーテンウォール事業  
プロジェクトの計画中止や延期の  
影響で減少
- ・ アクア事業  
プール堅調に加え保守メンテが増加

## 【営業利益】

売上の減少に伴い、減益となった

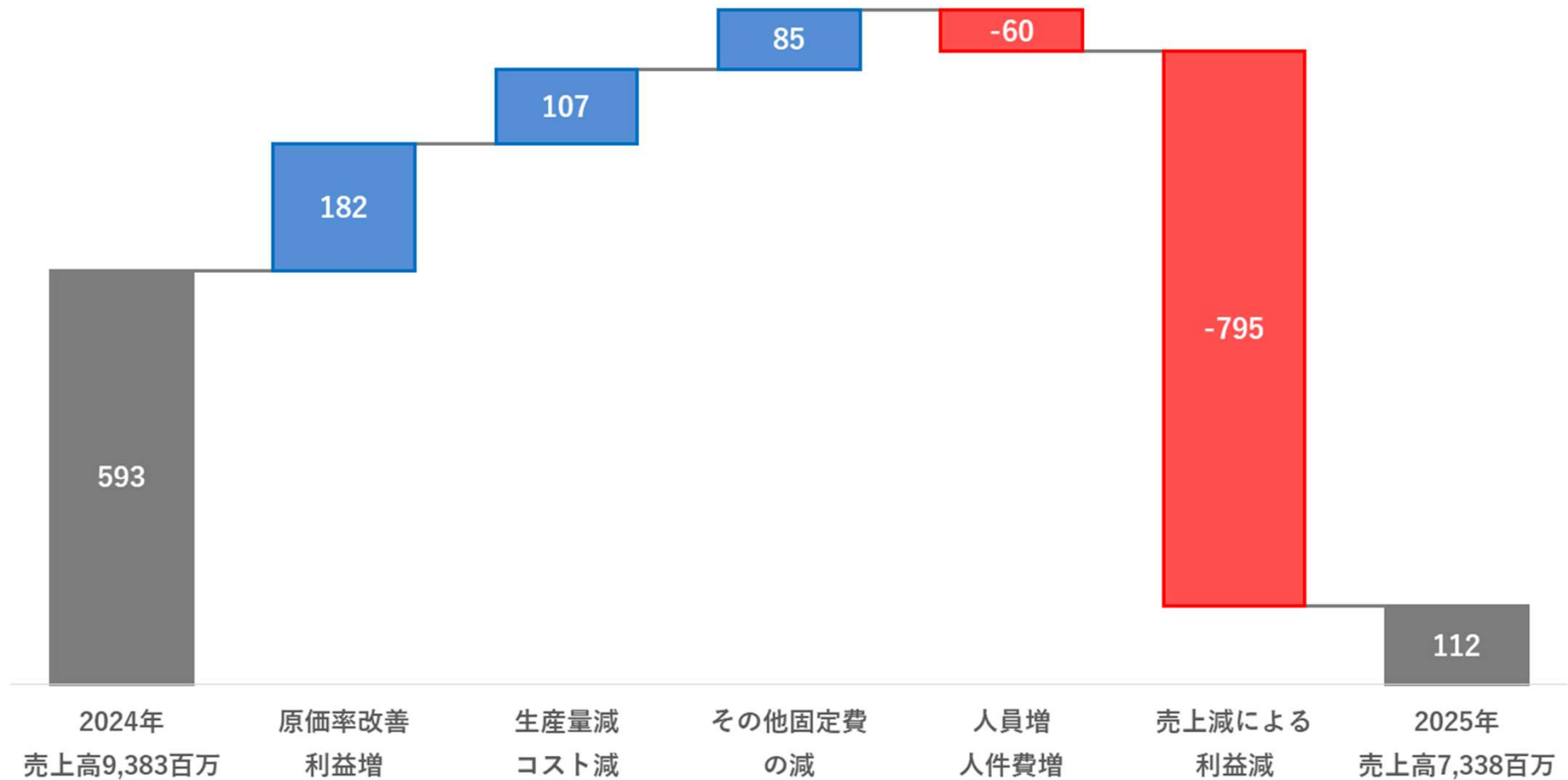


---

### 3. 2025年12月期 説明詳細

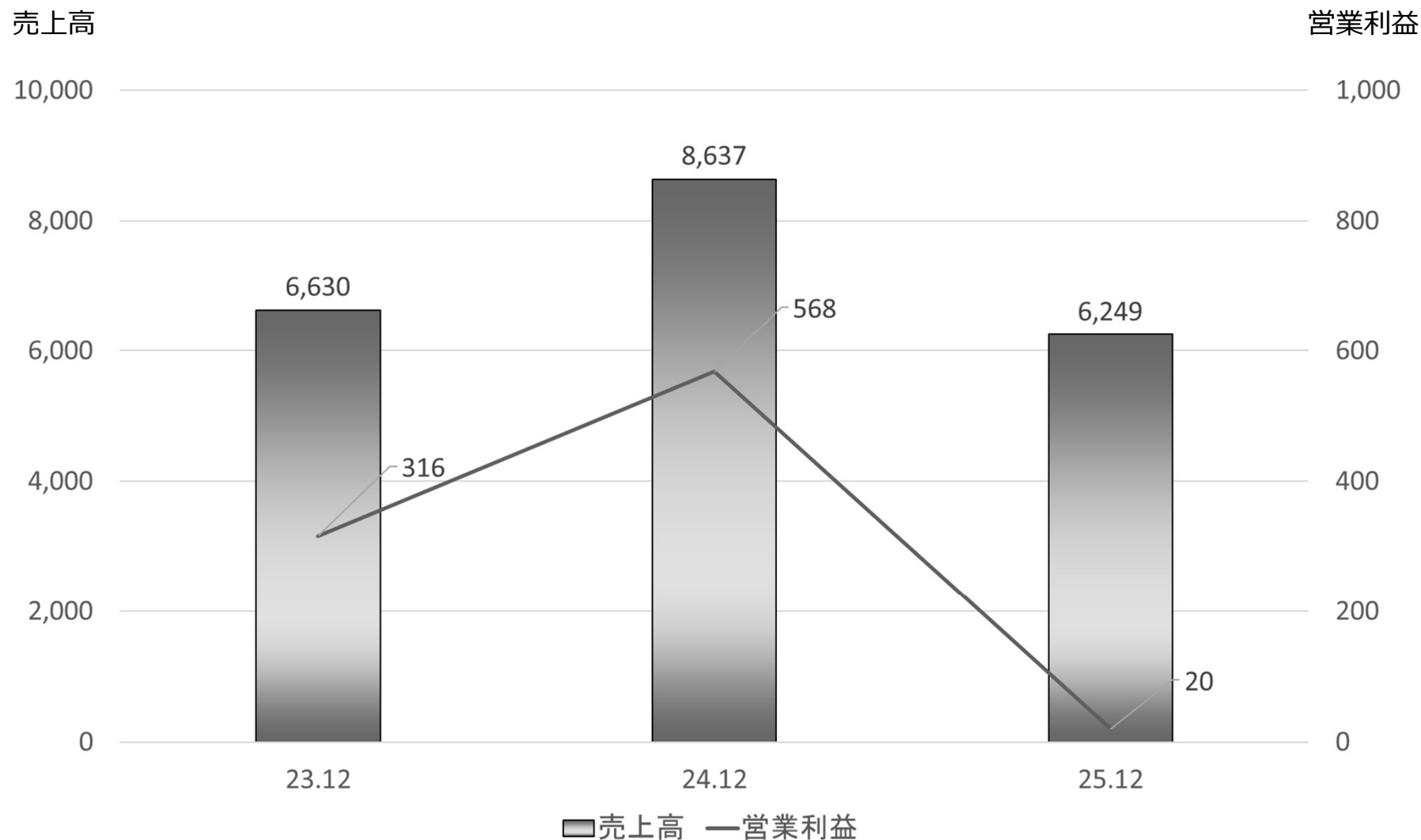
# 2025年12月期 営業利益分析

単位：百万円



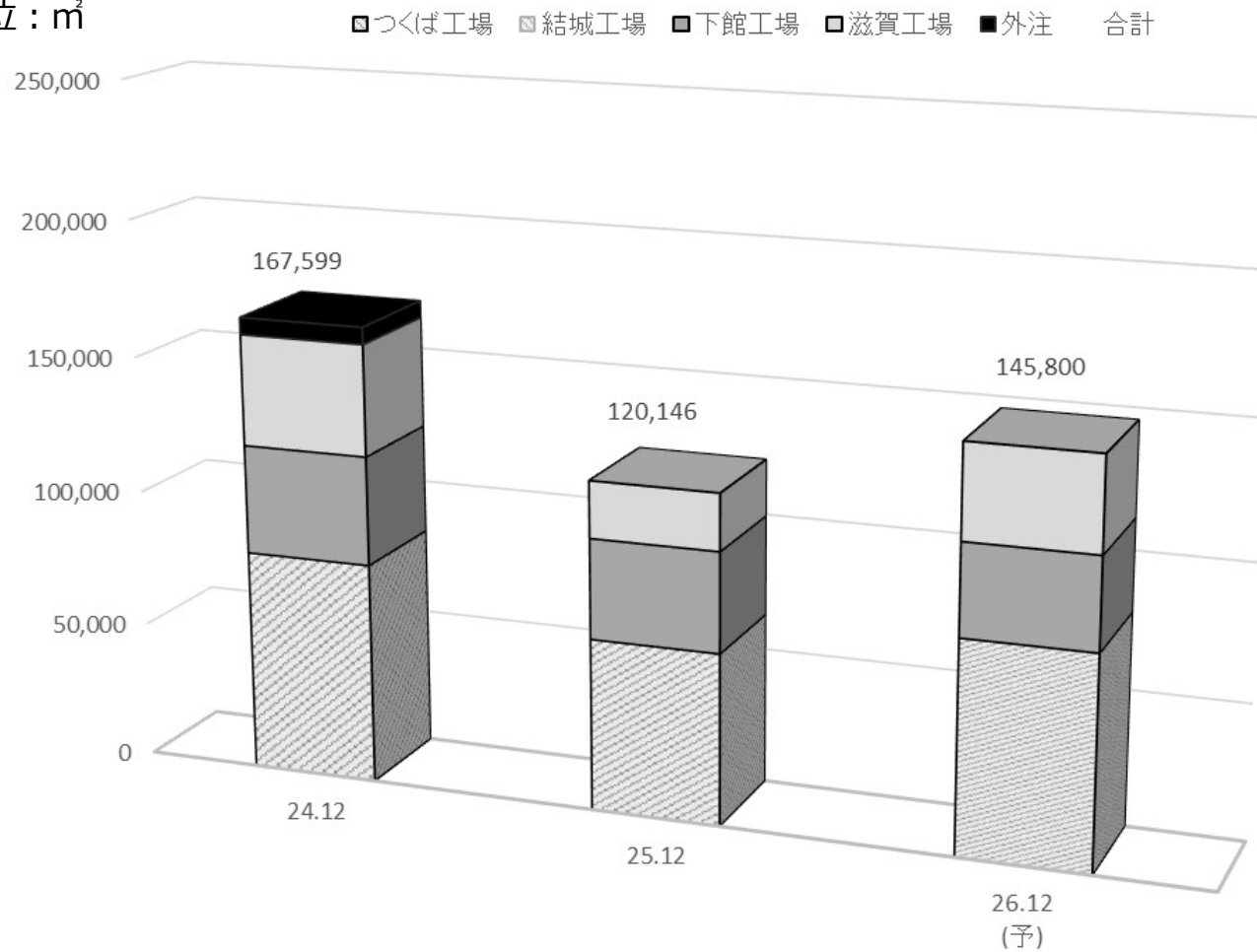
# セグメント別売上高・利益推移【PCカーテンウォール】

(単位：百万円)



# 工場別生産量推移 【PCカーテンウォール】

単位：㎡

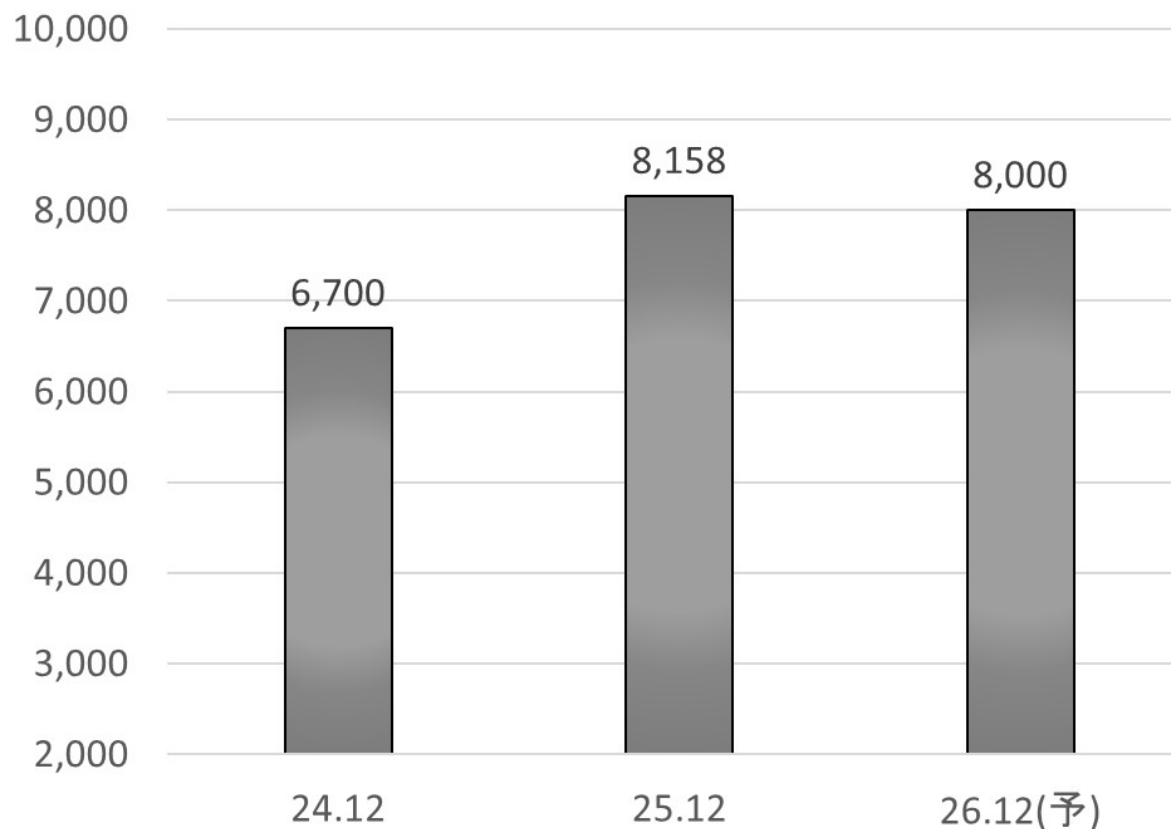




## 受注高推移 【① PCカーテンウォール】

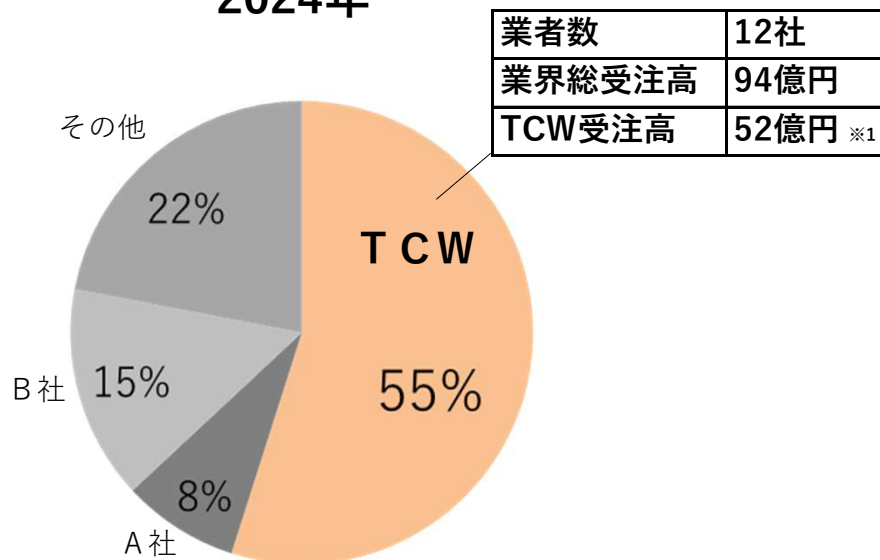
- 2025年度は、予定していた大型物件がPCから他部材への変更があったが、予定外物件の受注などにより、年初目標を達成した。
- 2026年度は、引き続き大型物件の受注が期待され、受注高は同水準で推移する見込み

単位：百万円

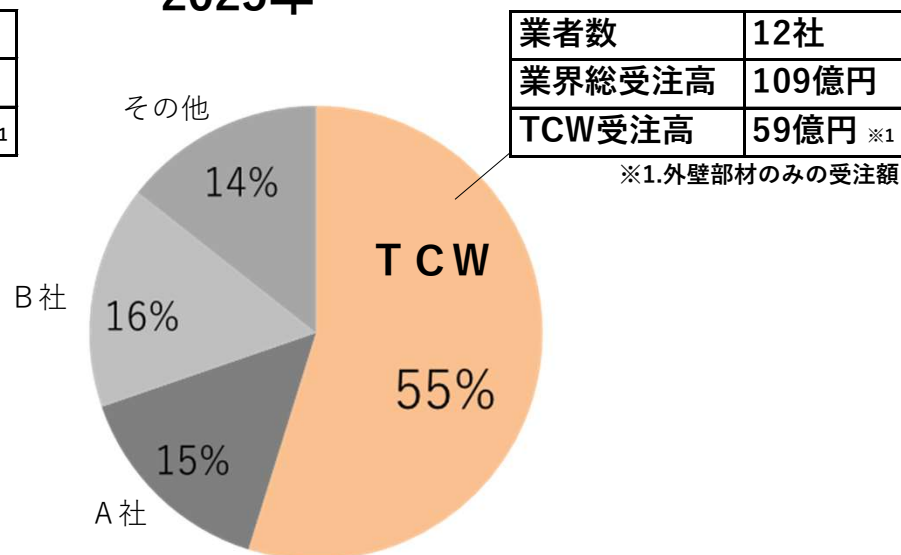


# TCW全国マーケットシェア（2024-2025年）

2024年

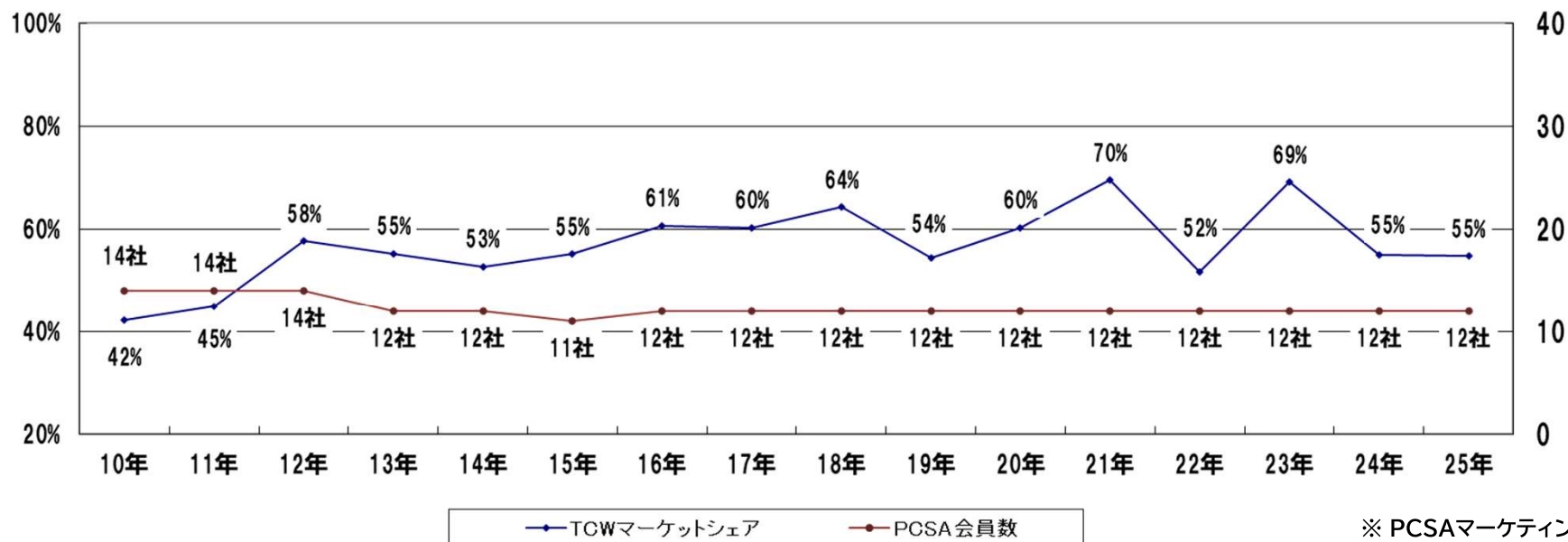


2025年

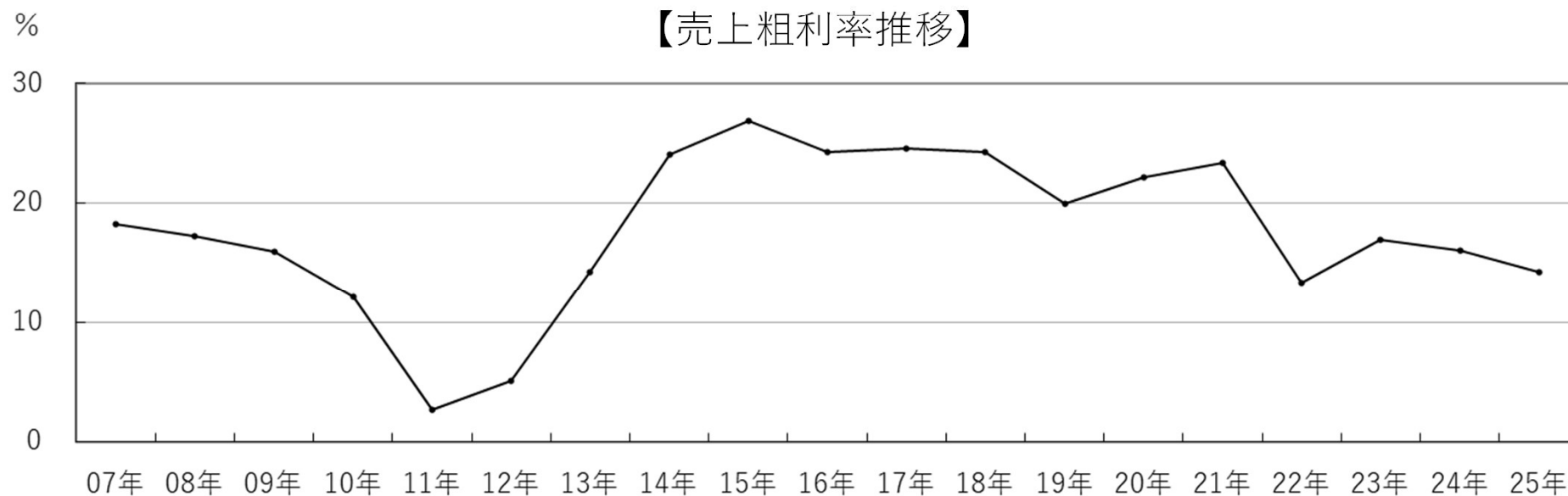
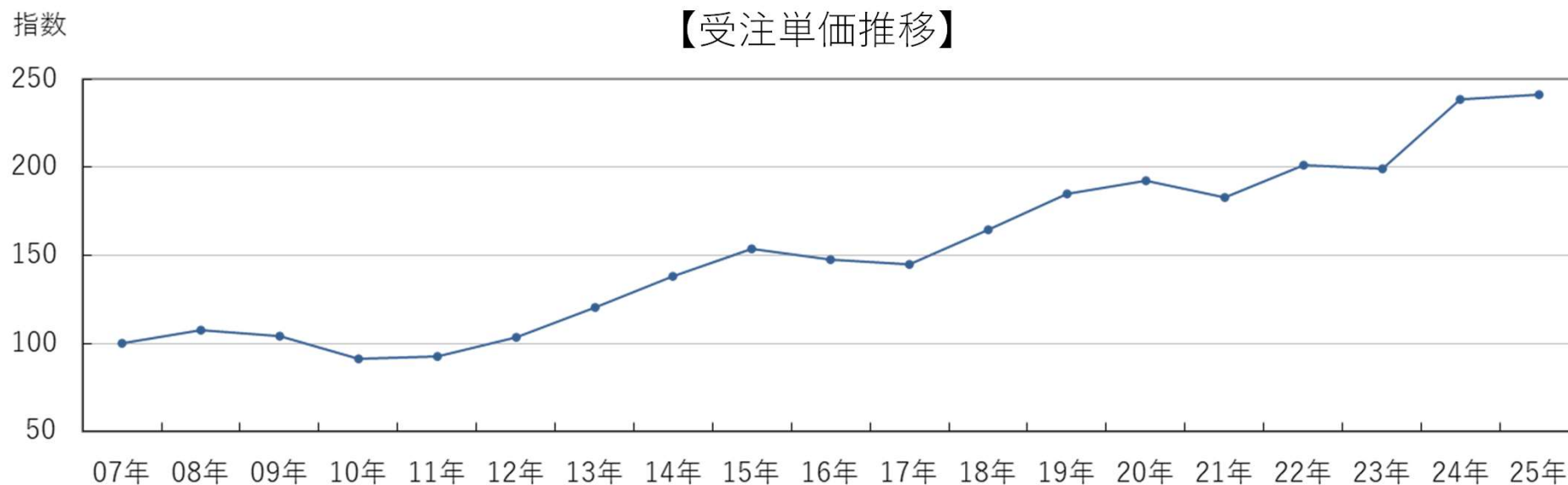


マーケットシェア

PCSA会員数

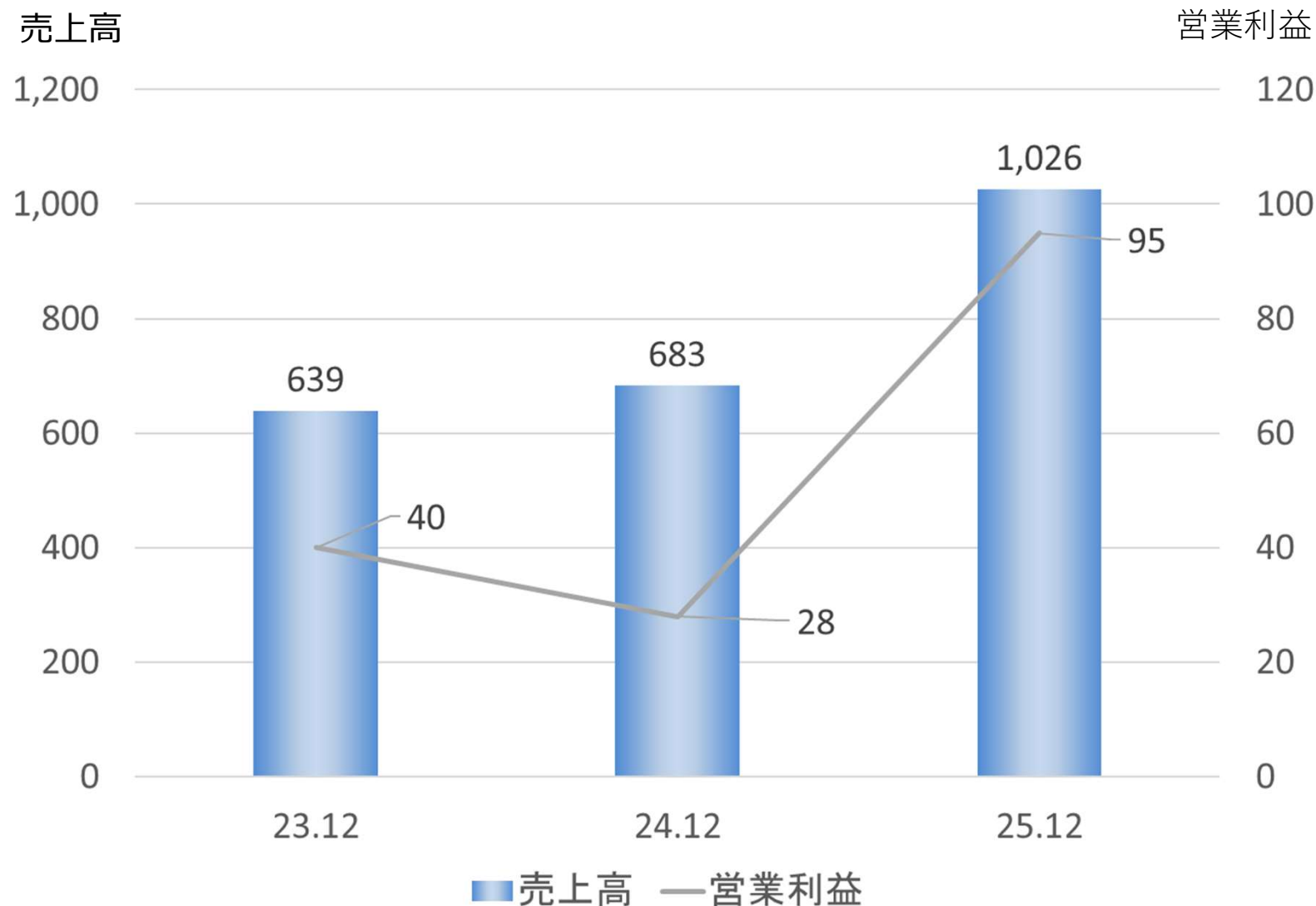


# TCW受注単価・売上粗利率推移



# セグメント別売上高・利益推移【アクア施設】

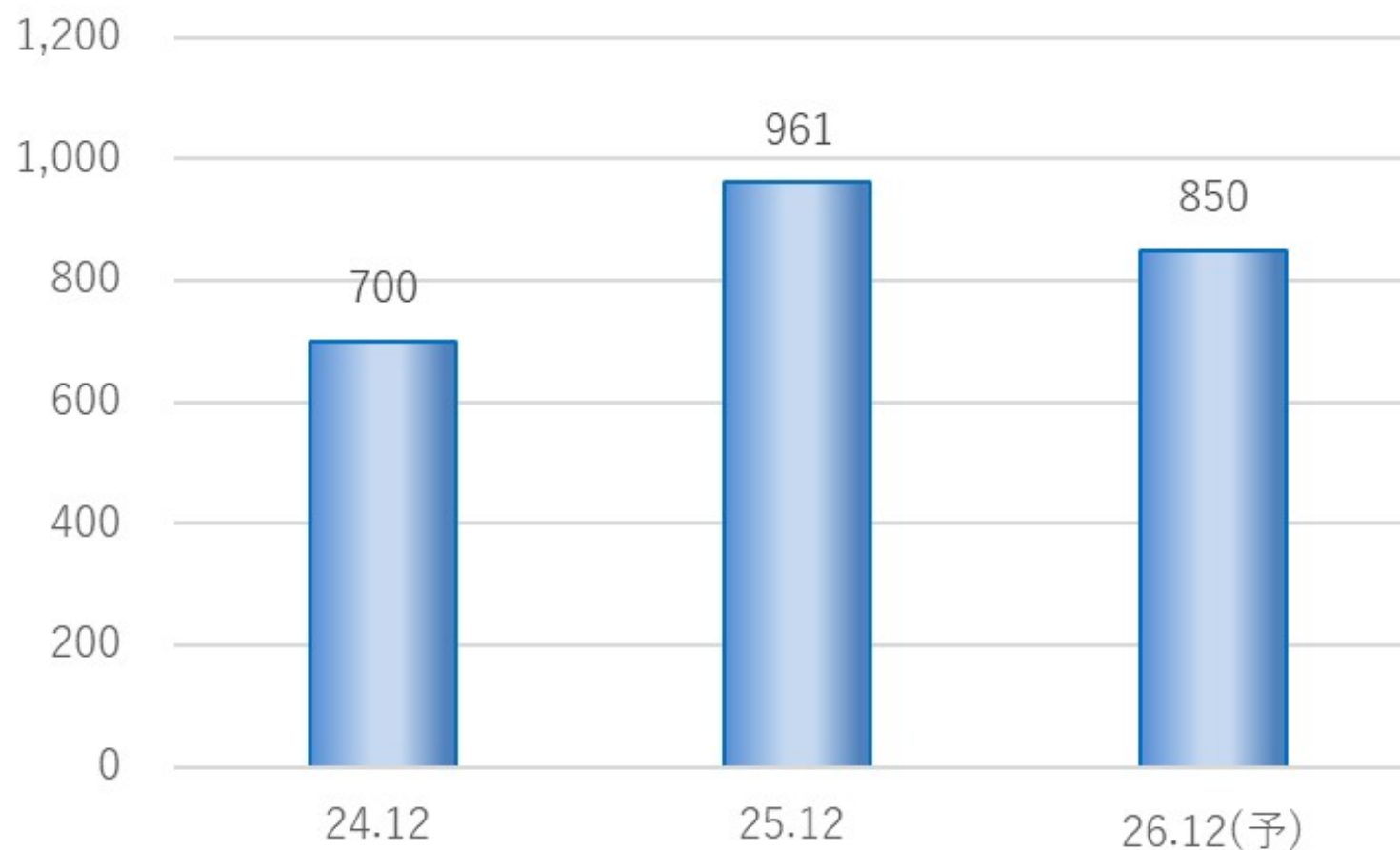
単位：百万円





- 学校プールは堅調に推移しており、インバウンドによるホテルプールや民間プールの需要が引き続き強い。

単位：百万円



---

## 4. 各事業の今後

- ・ゼネコンを中心に低炭素コンクリート開発が活況

(延べ床5000㎡以上の建築物に2028年LCC（ライフサイクルカーボン）算定義務化が導入予定)

- ・現場打ちコンクリートのプレキャスト化が加速

- ・業界全体でのデジタル変革（DX）が本格化

(BIMの本格導入、AIの活用、ドローン技術の導入)

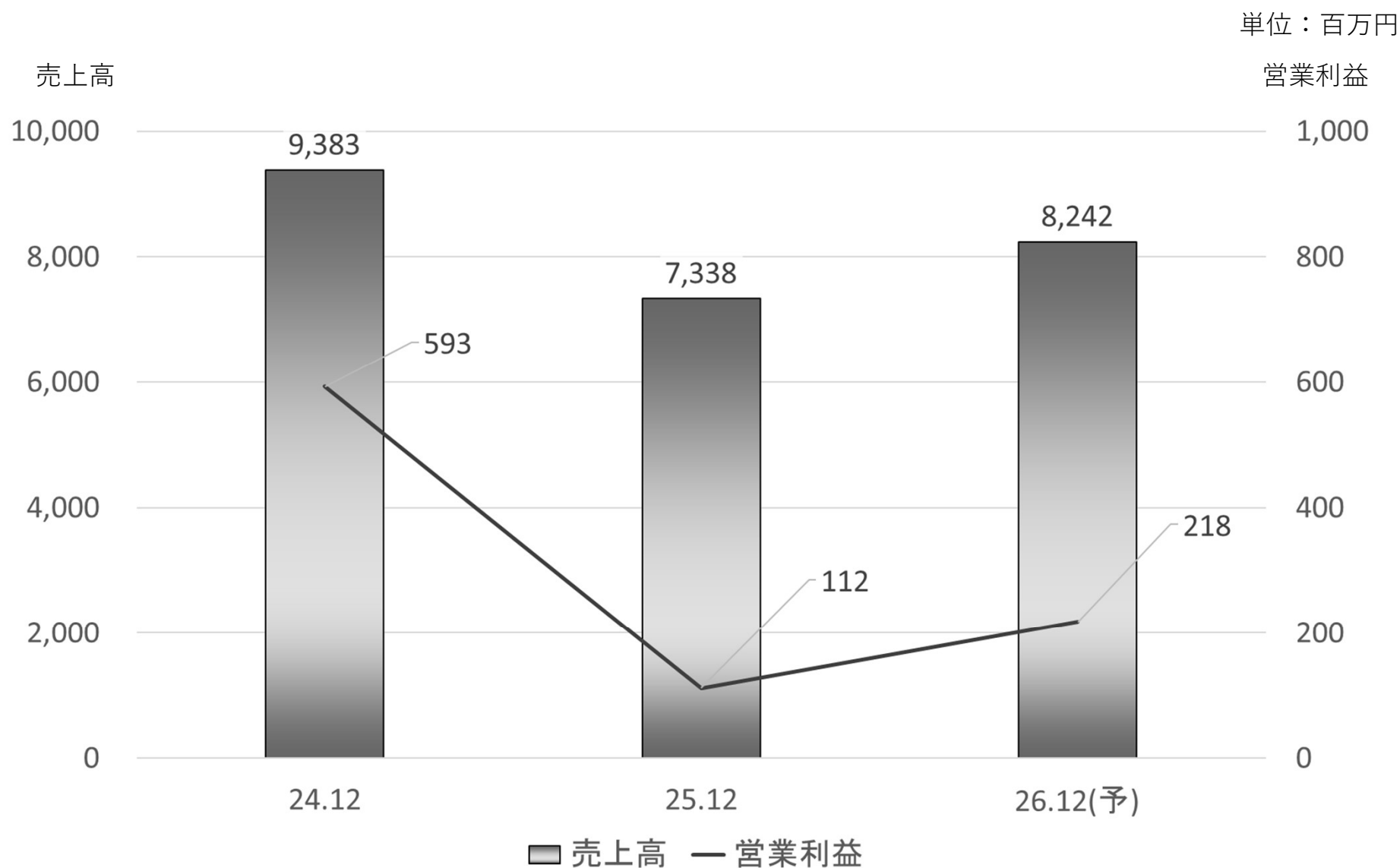


- ・ インバウンドの影響によるホテルプール案件が増加傾向
- ・ プール可動床のメンテナンス案件が増加傾向
- ・ 経年劣化に伴う改修・リニューアル工事も安定推移

---

## 5. 2026年12月期 連結通期予測

# 2026年12月期 連結通期予測





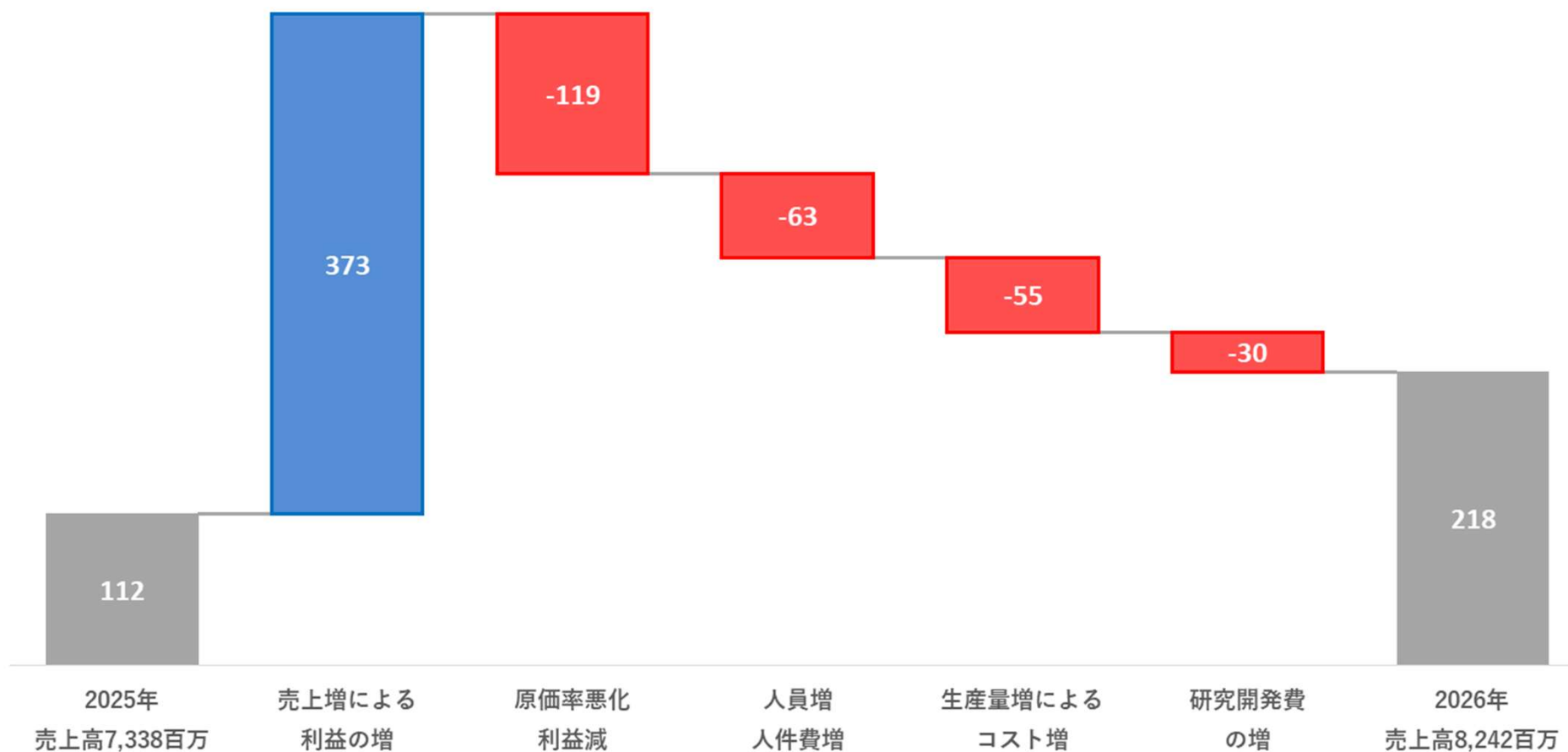
# 2026年12月期 連結通期予測

単位：百万円

	2025.12 決算	2026.12 通期予測	上期	下期	通期 増減額	通期 増減率
売上高	7,338	8,242	4,000	4,242	904	+ 12.3%
営業利益	112	218	130	88	106	+ 93.5%
営業利益率	1.5%	2.6%	3.3%	2.1%		+ 1.1%
経常利益	186	268	150	118	82	+ 43.6%
経常利益率	2.5%	3.3%	3.8%	2.8%		+ 0.8%
当期純利益	190	166	90	76	△ 24	△ 12.9%
当期純利益率	2.6%	2.0%	2.3%	1.8%		△ 0.6%

# 2026年12月期 営業利益分析

単位：百万円



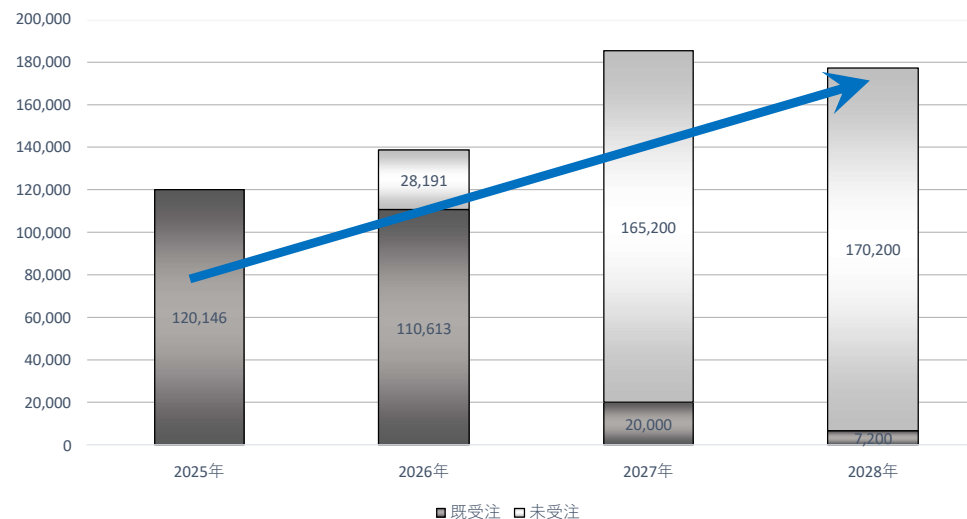
# 今後の受注見込み 【PCカーテンウォール】

PCカーテンウォール事業の受注規模（㎡）と製造、施工時期

（単位：㎡）

		2025年	2026年	2027年	2028年	2029年以降
既受注案件	247,233	120,146	110,613	20,000	7,200	
営業中案件	489,591		28,191	165,200	170,200	126,000
工期未定 引合物件						686,000
年度計（㎡）		120,146	138,804	185,200	177,400	812,000

受注量の見込み



2025年が底となり受注量は回復傾向

物件の計画延期・見直し・中止もひと段落し今後も増加見込み

# 2025年 当社での出来事

---

## 【ポジティブな側面】

- 建設コスト高騰の影響で工事計画の見直し・延期が続いていたが、関西地区の大型・中型プロジェクトが順次着工
- 首都圏プロジェクトも底打ちし、引き合いは活況
- 鋼材・燃料・輸送等のコストアップ要因は一服

## 【ネガティブな側面】

- セメント・骨材等のコンクリート材料コストアップは継続



# 2026年 当社の直面するチャレンジ - 1

- 当社はPC外壁を得意としているが、近年、PC外壁のみでは工場を埋めきれず、収益を悪化させる要因となっている。

生産技術証明を取得しPC外壁以外のコンクリート製品の生産可能範囲拡充を図ることで工場稼働率及び収益の安定化を図る

## PC外壁（非耐力壁）以外のコンクリート製品を生産するためのロードマップ

	2026												2027							
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	
つくば工場	準備及び審査															生産技術証明取得予定				
下館工場	N認定取得済																			
滋賀工場	準備及び審査										生産技術証明取得予定									

※1 一般社団法人 プレハブ協会が行うPC部材品質認定制度

※2 一般財団法人 日本建築総合試験所が行う「建築構造部材PCa製品に用いるコンクリートの生産技術性能証明」

## 2026年 当社の直面するチャレンジ - 2

---

- 環境負荷の少ないコンクリートの開発を継続
- DX・AXを推進し、業務効率の改善を図る
- 収益源を多様化を図り収益額の増大を目指す

---

## 6. 当社の資本コストについて

# 当社の資本効率を意識した経営

---

WACC（加重平均資本コスト）は、  
企業が資本を効率的に活用しているかの指標です

	WACC	ROIC	差
2023年	6.1%	2.6%	3.5%
2024年	5.7%	3.8%	1.9%
2025年	5.5%	0.8%	4.7%

（WACCはCAPM方式による当社算出値）

引き続き資本効率の向上を目指して取り組んでまいります。



---

## 7. 配当の基本方針と推移

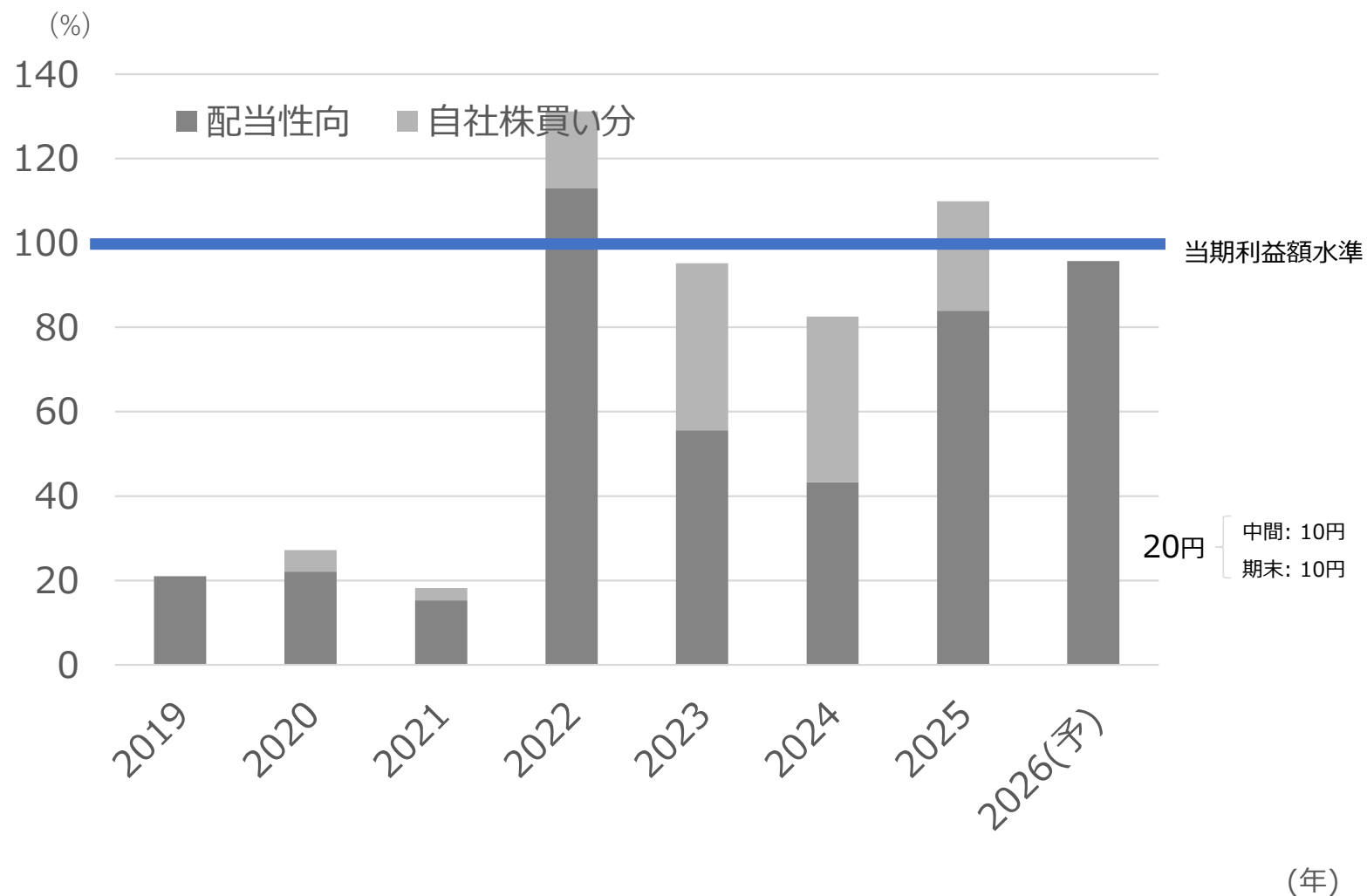
# 配当の基本方針と総還元性向の推移

配当方針

年間20円/株以上の継続

(中間10円 + 期末10円)

総還元性向  
の推移



---

# TCW

## 【見通しに関する注意事項】

本資料に記載されている中で、売上予想等に記載されている各数値や今後の見通し等は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算出しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化により、実際の業績等が予想数値と大きく異なる可能性があります。